

ESDテーマワークショップ【貧困撲滅と社会的公正のための教育】

# 「ジェンダー平等と社会的公正のための教育」の強化に向けて

特定非営利活動法人

北九州サステナビリティ研究所

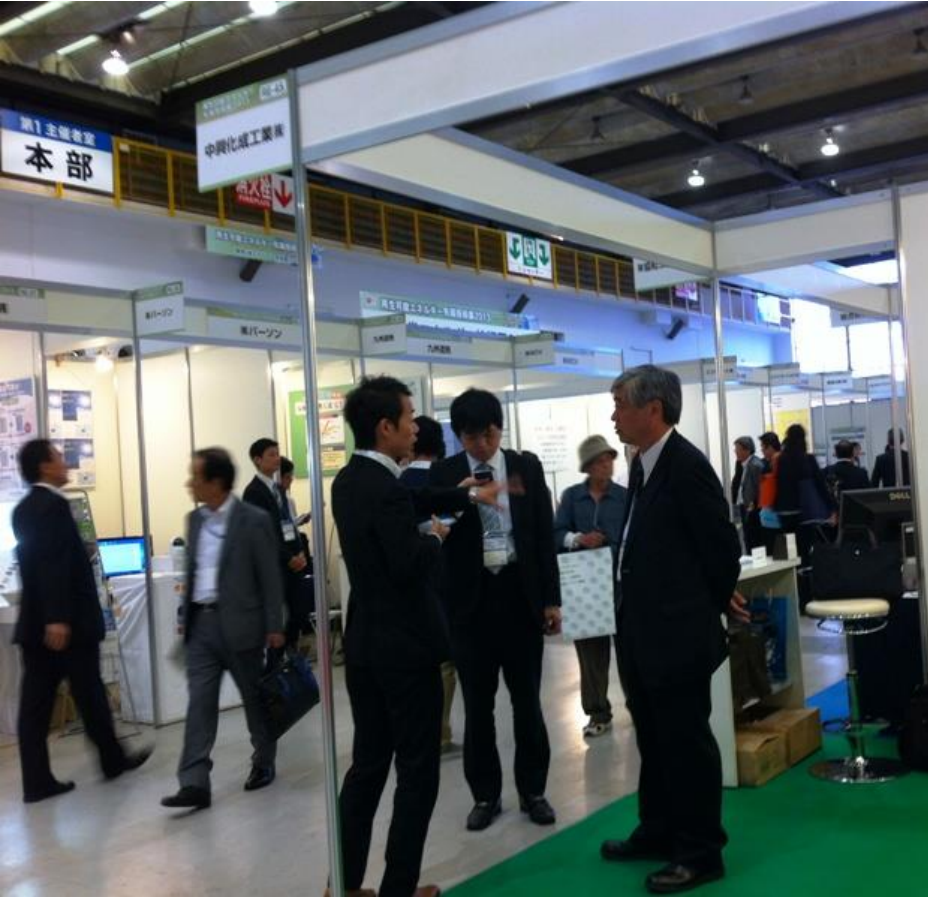
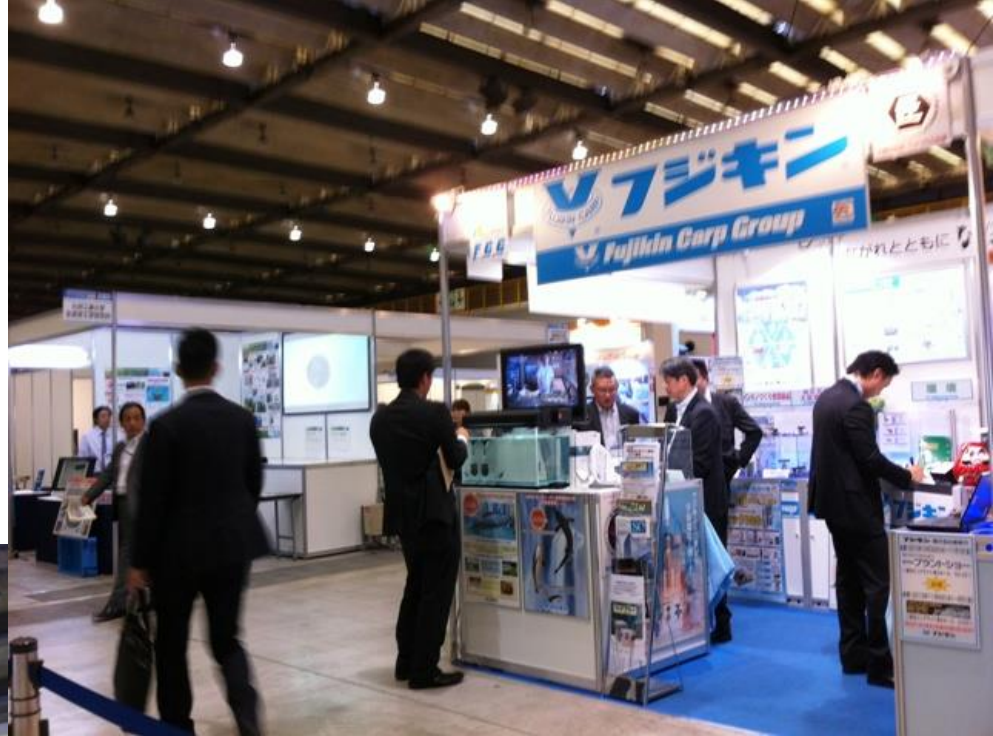
織田 由紀子



# 今日のお話

1. 課題の重要性
2. 問題の所在
3. チャンス—ポスト2015(MDGs)開発目標
4. 力をつけるためのESDの取組み

私たちはまだ  
ジェンダー平等と社会的公正  
が実現した世界を知らない



いまだ女性と男性の世界は分断している  
(エコテクノの参加者)

# 課題の重要性

- ラガルドIMF専務理事(2012年10月)

「女性は日本の潜在力。働く女性を増やせば、日本経済がよくなる」として、社会的プレッシャーにより女性が出産後仕事を辞めている、労働時間を短くすること、女性リーダーを増やすことなど・・・



# 課題の重要性

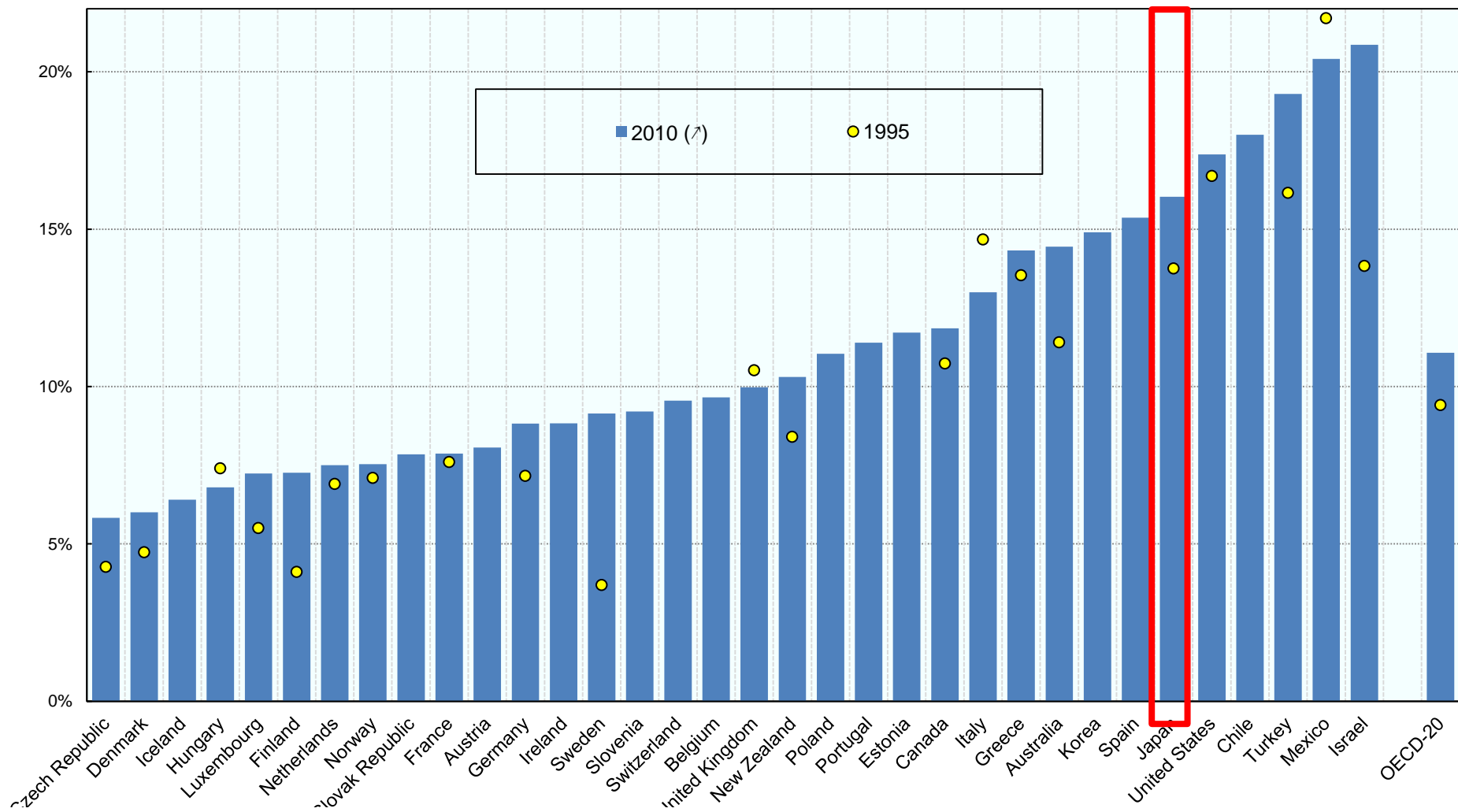
- 安倍首相の国連演説(2013年9月)  
    ウィメンイクスー「女性が輝く社会をつくる」  
        女性の社会進出を促せば促すだけ、成長率は高くなる
- ① UNウィメンの活動を尊重
- ② 女性・平和・安全保障に関する「行動計画」
- ③ 武力紛争のもと、女性に対する性的暴力
- ④ 自然災害において女性に配慮する

# 問題の所在

- ジェンダー不平等・社会的不公正が続いている
  - 日本は貧富の格差の大きい国
  - 貧困層は誰か
    - ワークングプア・非正規労働者－女性が多い
    - 高齢者－女性が多い
  - 経済・環境・社会的貧困
- 依然幻想が蔓延している
  - 経済に関する幻想
  - 性別役割分業の幻想
- 問題を感じる力、発言する力が弱い

# 日本の貧困率は高い

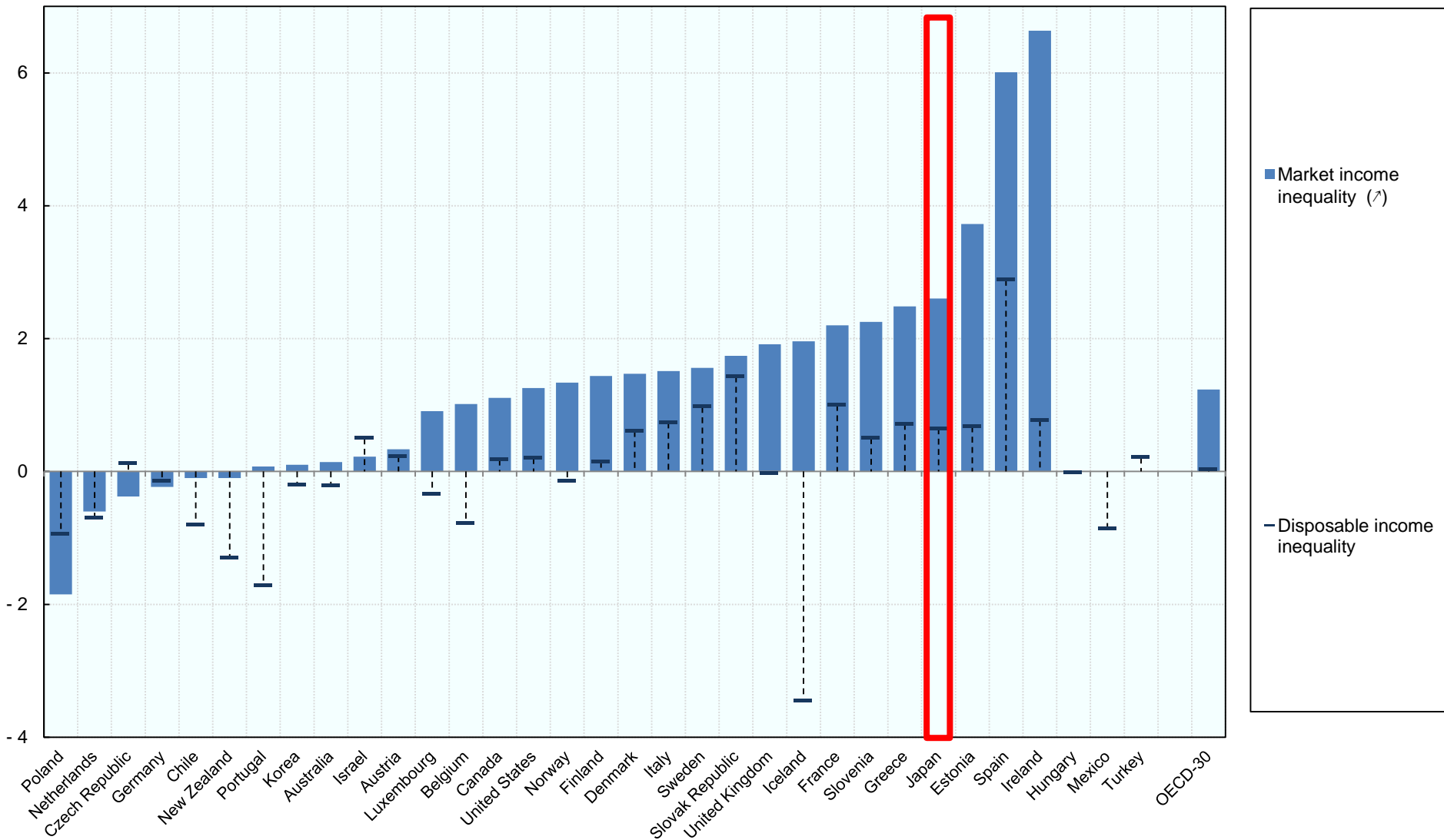
相対的貧困率, 1995 and 2010





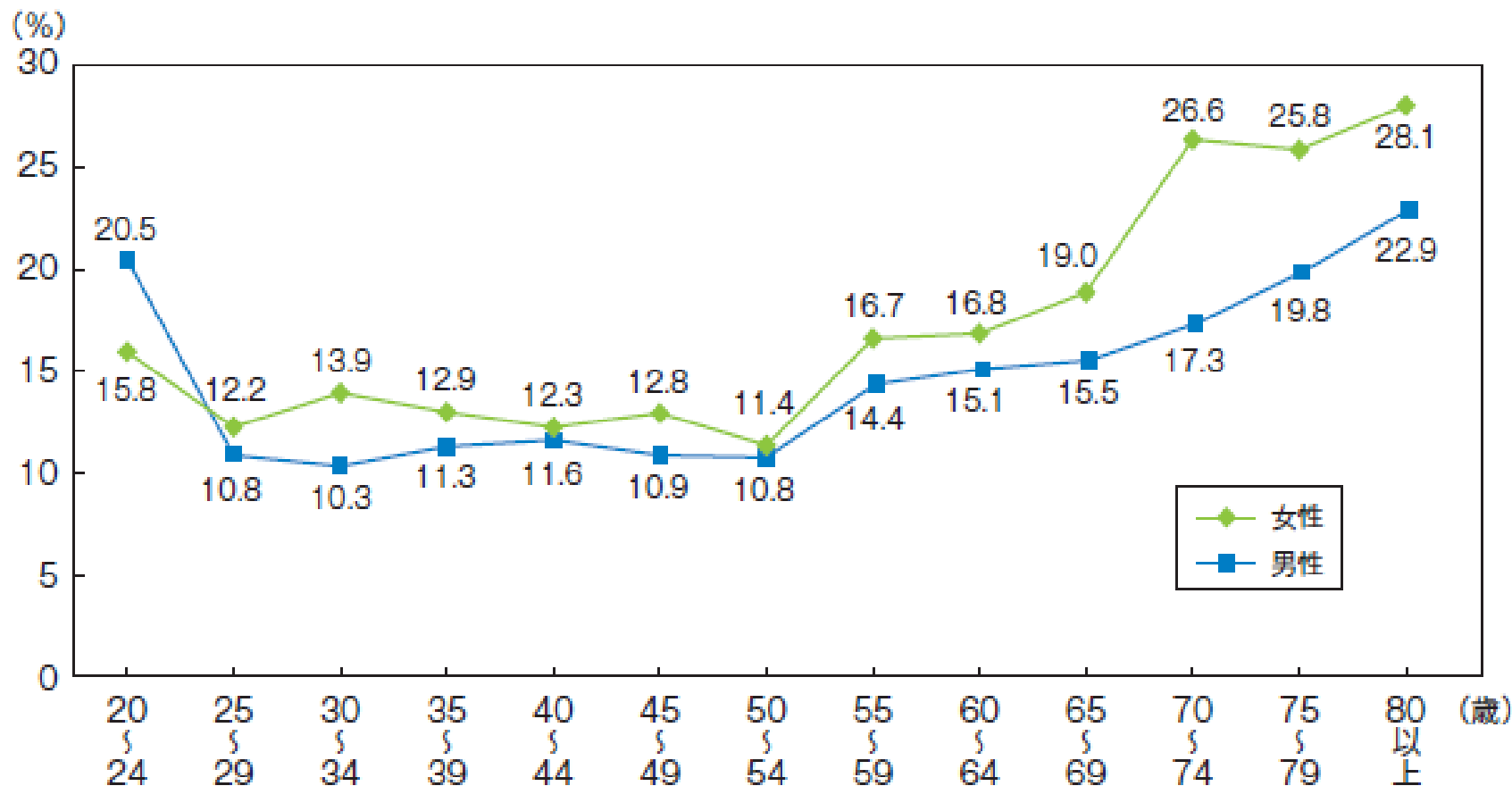
# 所得格差が拡大している

市場所得と可処分所得 2007・2010



# 日本の貧困率—女性の方が高い

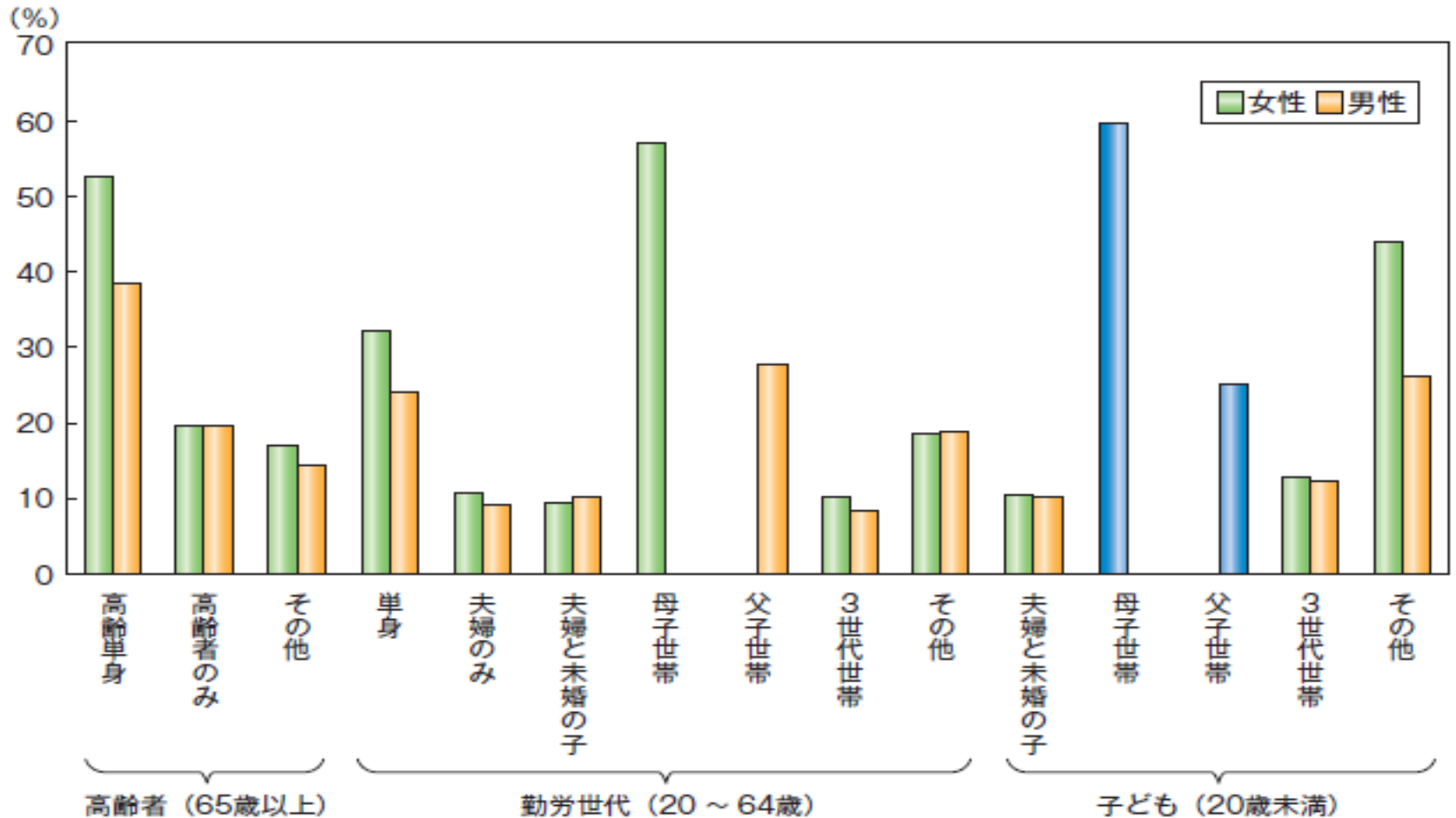
第23図 男女別・年齢階層別相対的貧困率（平成19年）



(備考) 厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成19年)を基に、内閣府男女共同参画局「生活困難を抱える男女に関する検討会」阿部彩委員の特別集計より作成。

# 母子世帯の貧困率が高い

第24図 年代別・世帯類型別相対的貧困率（平成19年）



- (備考) 1. 厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成19年)を基に内閣府男女共同参画局「生活困難を抱える男女に関する検討会」阿部彩委員の特別集計より作成。  
 2. 父子世帯は客体が少ないため、数値の使用には注意を要する。  
 3. 母子世帯、父子世帯の子ども(20歳未満)は男女別ではなく、男女合計値。  
 4. 高齢者のみ世帯とは、単身高齢者世帯を除く高齢者のみで構成される世帯。

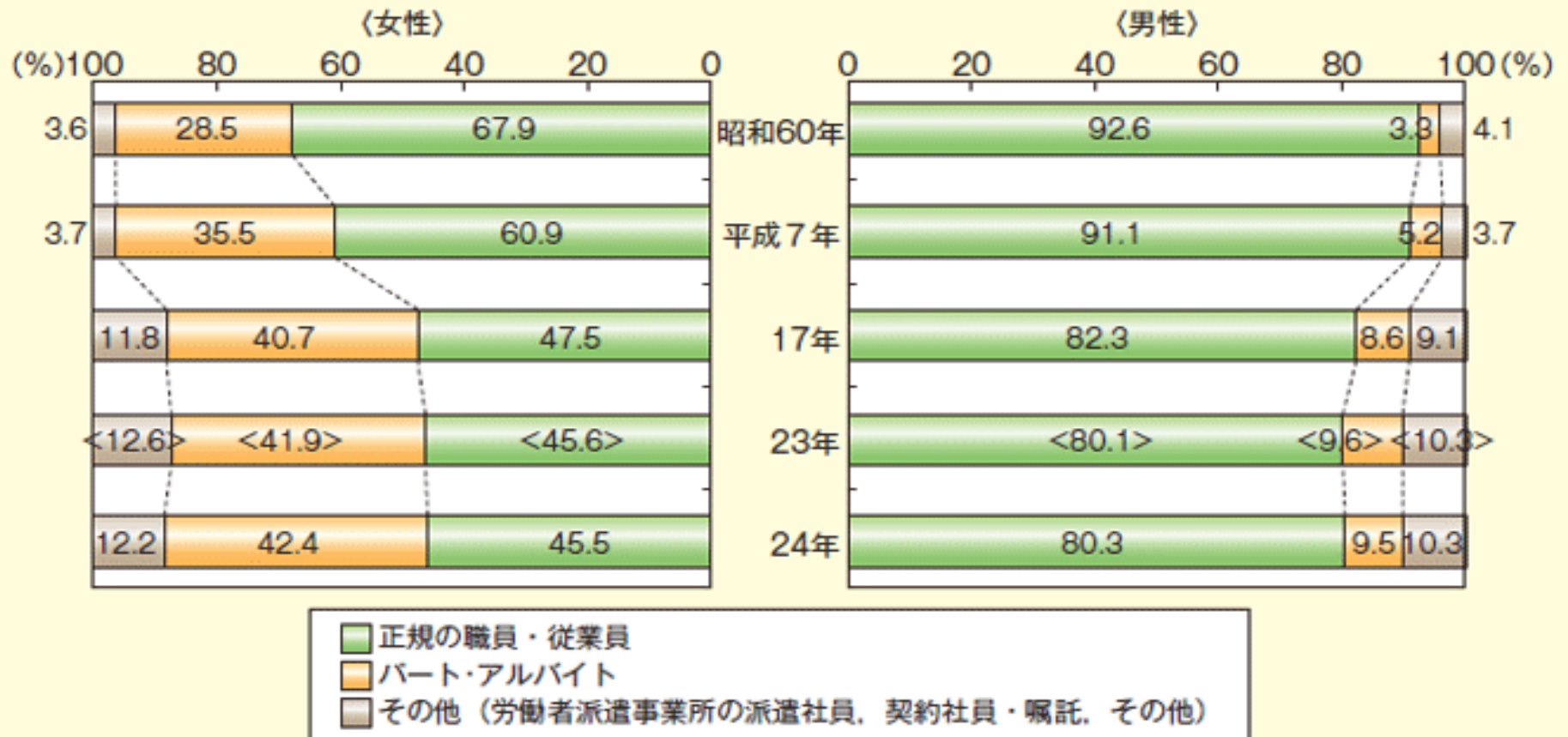
# 母子世帯の貧困率が高い

## 世帯構成と貧困率

|          | 人口構成比 | 貧困率   | 貧困率貧困層構成比 |
|----------|-------|-------|-----------|
| 両親と子のみ世帯 | 63.2% | 11.0% | 50.0%     |
| 三世帯世帯    | 28.5% | 11.0% | 23.0%     |
| 母子世帯     | 4.1%  | 66.0% | 19.0%     |
| 父子世帯     | 0.6%  | 19.0% | 1.0%      |
| 高齢者世帯    | 0.1%  | NA    | NA        |
| その他世帯    | 3.4%  | 29.0% | 7.0%      |

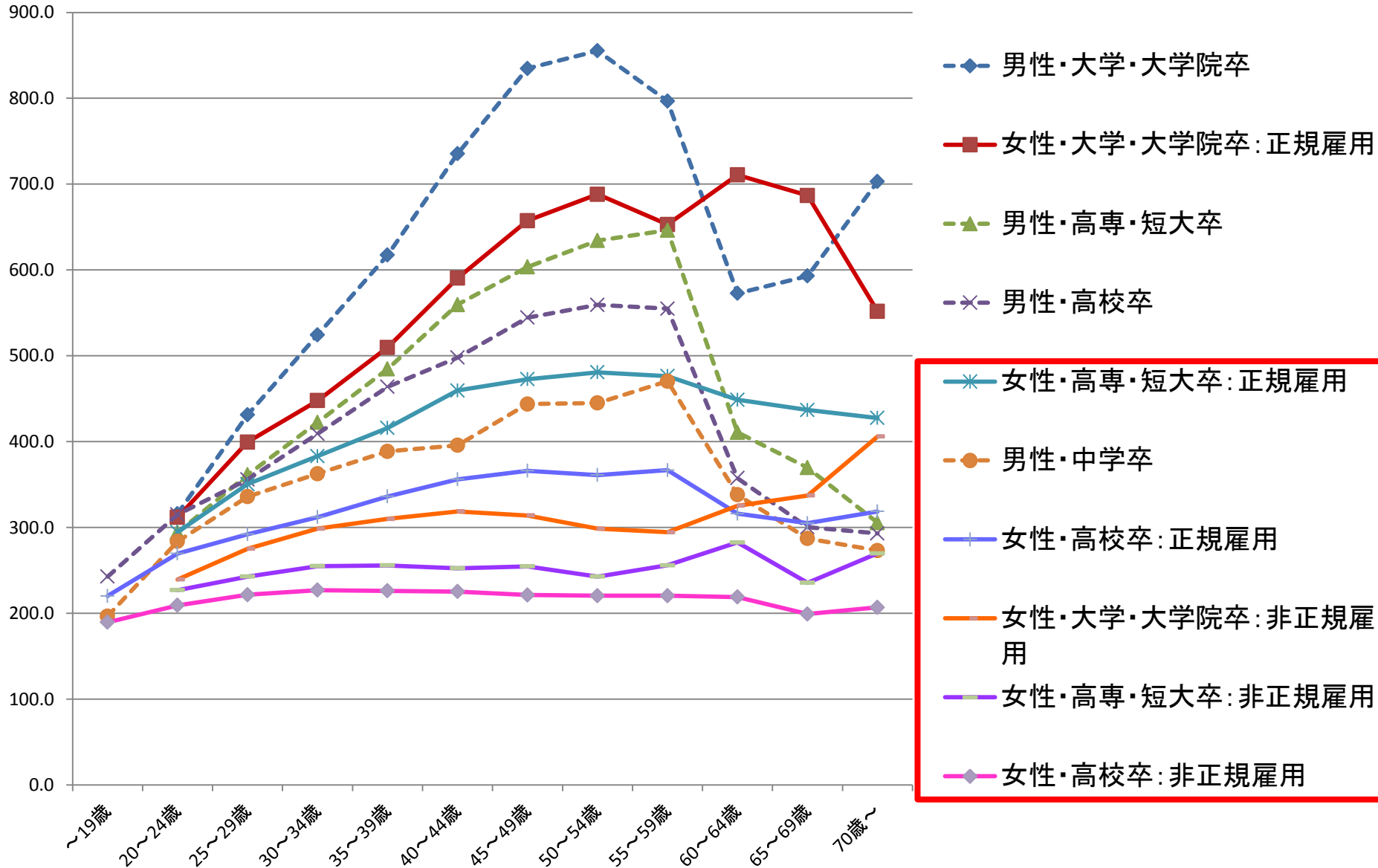
# 女性労働者の過半数が非正規雇用

第1-2-8図 雇用形態別に見た役員を除く雇用者の構成割合の推移（男女別）



- (備考) 1. 昭和60年と平成7年は、総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月)より、17年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査(詳細集計)」とでは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。
2. 平成23年の<>内の割合は、岩手県、宮城県及び福島県について総務省が補完的に推計した値を用いている。

# 教育(学歴)別年齢階級別平均年収 (男女別, 平成24年)



# チャンス

## ポスト2015 (MDGs) 開発目標

世界の国々はMDGs(ミレニアム開発目標)  
2000年に2015年までの開発目標を決めた。  
現在、2015年以後の開発目標を議論している。

# 「尊厳ある人生をすべての人に： MDGs達成の加速化とポスト2015年開発ア ジェンダの推進にむけて」

ポスト2015(MDGs)開発目標の議論に向けての国連事務総長報告(2013年7月発表)

## 84. 排除と不平等への取り組み

誰も取り残されることなく、すべての人びとが前進するためには、機会の平等が必要。これは**包摂的経済**を進めること。それは、男女ともに尊厳をもって働き、暮らせる雇用、法的保証、資金、インフラ、社会保護へのアクセス、すべての人が国や地方の統治に参画できる社会とすること。



# 「尊厳ある人生をすべての人に： MDGs達成の加速化とポスト2015年開発ア ジェンダの推進にむけて」

## 85. 女性と少女のエンパワーメント

政治・経済・公的分野における女性の参画、

女性に対する暴力、女性・少女に対する搾取の根絶、性的およびリプロダクティブ・ヘルス&リプロダクティブ・ライツ、土地所有、同一労働同一賃金、決定における同等な発言などが保障されるべきである。

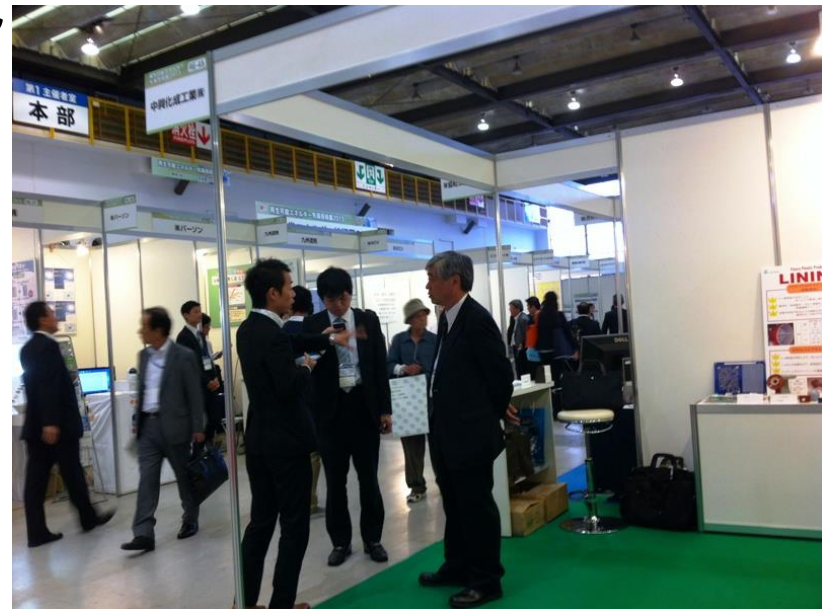
# 「尊厳ある人生をすべての人に： MDGs達成の加速化とポスト2015年開発ア ジェンダの推進にむけて」

## 86. 質の高い教育と生涯学習の提供

若い人が、就学前から高等教育まで、正規および非正規の教育を通じて、ライフスキルや職業訓練を含む教育と学びができるようにすべきである。

# 社会的な不公正を感じ、 正義を主張する力、 知識は十分か？

- 経験から
  - ジェンダーについての知識
  - ブラック企業
  - 人身取引被害者保護



# ジェンダー平等と社会的公正の実 現のための教育強化にむけて —何をすべきか—

- 社会的な不公正を感じる力
- 正義を主張する力
- 知識

← すべてESDでできること

# ESDにおけるジェンダー平等・社会的公正 すでに提案されている



## ジェンダー 教育

(財)アジア女性交流・  
研究フォーラム  
太田 まさこ



## すべての教育に ジェンダーの視点を

ESDを進めていく上で、ジェンダー教育には2つの可能性が 있습니다。1つは、ジェンダーは横断的課題といわれ、あらゆる分野にかかわっています。ESDもさまざまな教育を総合的に行おうという試みですから、そのすべてにジェンダーの視点をとり入れることが可能です。もう1つは、ジェンダー教育において、他の教育分野の参加・体験型の学習法をとり入れた新しい学習方法の開発です。「公正で持続可能」な社会づくりのために、ESDにジェンダーへの配慮をとり入れてみませんか。